

美濃加茂市未来のまちづくり委員会（第10回）議事録

1. 日時：令和元年11月15日（金） 午後7時00分～8時50分

2. 場所：美濃加茂市生涯学習センター 201号室

3. 出席者（順不同）：

（1）委員：

海道会長、渡邊副会長、須藤委員、生田委員、原田委員、山田委員、鈴木委員
宮口委員（9名中8名出席）

（2）業務委託先：

玉野総合コンサルタント株式会社3名

（3）市：

経営企画部企画課長、その他企画課2名
建設水道部対策監

4. 報告事項

事務局から、資料に基づき報告がされた。報告内容は、前回委員会の議事録、今後のスケジュール、新庁舎の施設計画・まちづくり・事業手法についてである。スケジュールについては本年12月に委員会より市長へ最終答申を行い、答申の結果を踏まえ、令和2年度以降に基本計画を策定することが報告された。

5. 審議事項

資料3-1（美濃加茂市新庁舎整備基本計画（案）（施設計画・まちづくり））及び付帯意見について審議を行った。委員から出された主な意見は以下のとおり。

【民間との連携】

・PFI事業において、参画企業のネットワークの構築が大切と考えられるため、民間企業、地元企業と十分な事業者同士の対話を行う必要がある。

・地方都市でPFI事業として成功している事例はあるのか。庁舎整備の事例の中にSPCの中に民間収益施設（コンビニ）を取り込んでいる例はあるが、成功といえるのか分からない。紫波町の新庁舎整備では条件は異なるが参考になる。

→（事務局回答）PFI事業として新庁舎整備を進めている事例を記載した。やはり、いかに民間の創意工夫を活かすことができる計画であるかが大切。

・庁舎機能については、基本計画（案）に細かな記載が見受けられるが、にぎわい機能についてはP. 29の記載のみか。

→（事務局回答）商業的な機能の面積については事業手法においても言及しているが、事業者ヒアリングを通して必要規模や仕様を聞き、庁舎計画に反映していきたい。

- ・にぎわい機能がしっかりと成立するような入居する事業者があるのか気になる。
 - （会長）今後どのような庁舎機能以外を具現化するための検討が考えらるか。事業フレームを設定するのか。
 - （事務局回答）マーケティング調査を行う予定。民間事業者の意見を反映し、活かしていく。
- ・まちづくりに寄与するという意識を持って、まちづくりに対する姿勢を重要視した事業者選定を行って頂きたい。
 - （事務局回答）いかに民間企業と対話していくかが大切。しっかり意欲、可能性を見極めていく。

【2050年を見据えて】

- ・基本計画（案）P.1の「はじめに」に「2050年を見据えた新庁舎をいかしたまちづくり」とあるが、周辺の公共施設も含めてまちづくりを考える姿勢を示すべきではないか。維持管理費、修繕費等の観点でも言及しても良いのではないか。
 - （会長）ライフサイクルコストも十分に検討、建物の長寿命化と合わせて配慮するという記載があるとよい。
- ・事業手法の選択について、今後さらに他事例などを踏まえながら調査、研究を進めてもらいたい。
- ・庁舎の役割は多くの人を集めることである。「みんなが集う場所」を庁舎の機能として役割をもたせるために、例えば駅前に高校生が勉強している姿が見られるが、若者がどのような使い方をするのか、どのような人に定着してもらいたいかを考えることで、「にじみでる波及効果」を大きくしてほしい。
- ・1階を駐車場のみには避けて、グランドレベルで広場があってにぎわいが感じられるようにしてほしい。
- ・実現に向けてはこれからであるため、十分な市民との意見交換を行い、基本計画を具現化してほしい。

【新しいまちづくりについて】

- ・章立てについて「第6章 新庁舎からはじまる新しいまちづくり」は、基本構想を振り返り新しいまちづくりへという書き方をしており、庁舎のみならず、まちづくりを包括していることから最終章のほうが適切だと考える。
 - （会長）庁舎計画の一環として記載するために6章に記載しているという見方もできるが、庁舎の基本計画であるため、まちづくりと連携するという点についてはどのように考えるか。
 - （事務局回答）章立てについて、第6章のまちづくりについては、本来は最終章の7章に持ってくるのが適切であると考えため、整理する。
 - （会長）中心市街地、特に駅南のまちづくりは具体的にどのように進めるのか、
 - （事務局回答）駅南地区まちづくり協議会が創設され、地域の方によって活性化に向け

た議論を進めている。

・美濃太田駅南の西エリアと東エリアは、1つという認識で、計画として一緒に行うべきだと考える。行政と民間は強固な連携をしていく必要がある。民間の活力を十分に活かしてほしい。

→（事務局回答）民間との継続的な対話を大切にしていきたい。

以上